

第 188 回 役員 会 議 事 録 (要 録)

平成 25. 7. 30 (火) 15:00 ~ 15:56

場 所 : 法人本部棟 5F3 会議室

出席者	浅原, 坂越, 吉田, 岡本, 茶山, 平野 以上役員 6名
欠席者	上
オブザーバー	間田, 相田, 江坂, 佐藤, 富永, 平川, 神谷, 河村

(議事)

1. 招へい教授の選考について ----- 別紙 1
(学長提案・説明)

広島大学招へい教授等規則に基づき、医歯薬保健学研究院長から推薦のあった者に招へい教授の称号を授与することについて提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告)

1. 平成 25 年度年度計画の進捗状況について ----- 資料 1
(学長報告)

平成25年度年度計画の6月末の進捗状況について、各室等からの報告に基づき確認した旨の報告があった。なお、学長から、引き続き年度計画の達成に向けて努力することはもちろんのこと、計画によっては「IV」(計画を上回って実施)となるように努力するよう、指示があった。

2. 役員会における継続検討事項について ----- 資料 2

「単身での海外における職員研修の計画」については、単身にこだわらず、研修計画を立案することとした。

3. 各室報告 ----- 資料 3

各担当理事及び副学長から、各室の課題に関する進捗状況等について報告があった。

4. その他

学長から、研究力強化のための方策について、次のとおり説明があった。

- ・ 研究力強化のための部局長ヒアリングを実施している。外部資金の獲得額、大学院生数などについて目標値の設定を依頼している。なお、大学全体では、外部資金獲得額は倍増、大学院生数は6,000人(1,700人増)を目標とし、大学院生を増やすためには、とりわけ留学生を増やす方策を採らなければならない。
- ・ 現在申請中のRUの他、COI、平成26年度にはグローバルユニバーシティの公募もある。研究力強化のためには、何としても採択される必要があるため、各室とも努力してほしい。
- ・ ライティングセンターのスタッフを早急に決め、業務を始めてほしい。
- ・ 教員個人評価を全学的に実施する必要がある。全学共通の評価方法のひな形を作れないか。

以上 (資料添付略)

